

お市の運命（さだめ）

松下 幹生

清洲の城に 華麗に咲いた
戦国一の 織田の姫
近江路を 風通しする 糧となり
兄に乞われて 小谷城
長政殿の 妻となり
鳩（にお）と伊吹に 守られて
市はしあわせ 者でした

「浅井（あざい）の裏切りじゃあ！
おのれ！ 長政〜っ！ 退却じゃあ！
猿！殿（しんがり）申し付ける！」

市の生涯 悲劇の予兆
金ヶ崎への 急報（しらせ）跳び
義兄弟（きょうだい）の 契（ちぎり）を破る 行いに
姉川の地を 血に染めて
朝倉共に 滅びらん
悲しきすべに 涙する
市の運命（さだめ）が 墮ちてゆく

三姉妹連れ 柴田の元に
涙で嫁ぐ 北の庄
秀吉が 親父と仰ぐ 勝家に
刃（やいば）を向ける 賤ヶ岳（しずがたけ）
もはやこれまで 討ち死の
娘（こ）らの命と 引き替えに
市の生命（いのち）が 消えて逝く